

3. 「平成29年度 技術講習会」報告

平成29年11月8日(水)吉野石膏(株)にて、平成29年度技術講習会を開催いたしました。今回も多数の方々に参加いただきまして、誠にありがとうございました。

今回の講習会は『標準衝撃源による床衝撃音遮断性能評価』という題目で、経験豊富な第一線の研究者・技術者の講師陣より、床衝撃音遮断性能に関わる標準衝撃源、測定法、評価法を対象として規格化等に関する過去の経緯や最新情報を基に規格化等の流れ・内容について詳しく解説いただきました。

【テーマと講師】

1. 本講習会の趣旨

講師：井上 勝夫 氏(日本大学)

- 標準衝撃源を用いる方法が導入されてきた経緯
- 測定評価の目的を統一していくことの重要性解説
- 適用等級の設定経緯、品確法やJISなどの規定経緯との関係



2. 実建物における床衝撃音の発生状況と問題点

講師：中澤 真司 氏(鉄建建設株)

- 2.1 床構造に求められる音響性能
- 2.2 床衝撃音に関する居住者からの苦情・不具合の発生
- 2.3 床衝撃音の発生部位(室用途)と特徴
- 2.4 床構造(室別)に求められる床衝撃音遮断性能



3. 床衝撃音遮断性能測定用標準衝撃源の導入経緯

講師：井上 勝夫 氏(日本大学)

- 3.1 標準衝撃源を導入した考え方
- 3.2 標準軽量衝撃源の導入経緯と衝撃力特性
- 3.3 標準重量衝撃源の導入理由と衝撃力特性の設定経緯

4. 標準衝撃源による測定結果の評価方法と相互関係

講師：大川 平一郎 氏(株住環境総合研究所)

- 4.1 床衝撃音遮断性能の評価尺度について
- 4.2 標準衝撃源による各種床構造の床衝撃音レベルの事例



5. 実衝撃源に対する性能検証方法と必要性

講師：河原塚 透氏(大成建設株)

- 5.1 実衝撃源を用いた性能検証方法の必要性
- 5.2 模擬実衝撃源の試作と適用性について
- 5.3 実衝撃源と標準衝撃源の対応性
- 5.4 標準衝撃源に対する検証方法



床衝撃音問題が一層深刻化する中、床衝撃音遮断性能の評価方法として新たな考え方が示され、2000年のJIS改正に当たって、いろいろな遮断性能の測定法・評価法が併記されるなどの動きがあり、状況を正確に把握し難かったと思われませんが、今回の講習会により基準衝撃源の導入経緯や性能評価の相互関係、対応性など、整理された内容でより理解を深めることができました。

また、井上氏からは「今後、基準衝撃源はどうあるべきか、さらに評価方法はどうかを考えてほしい」とのコメントがありましたが、受講者の皆様にとって本講習会が改めて考える場となったことを期待しております。



今回の講習会におきましても、充実した講義内容と皆様のご参加を期待しております。どうぞ宜しくお願い申し上げます。